

この二月は寒かったですね。節分の後も雪が舞ったりして名前の春だけで寒い日が続きました。ラジオから流れてきたキャンディーズの柔らかい声で♪もうすぐはあ～るですねえ～♪が耳に残ってやたらに懐かしさと暖かさを切望させられました。今、聞いてもいい歌ですね。掃除当番で朝の外回りの掃除を終えた子が「寒くなかったわ!」と息を弾ませて戻ってきました。暖かい、温もりはまだですが、あのゾクとした寒さはないですね。

ゆんたくの庭の紅梅もようやく蕾をふくらませていて、可愛い濃いピンク色の花がほころんでいます。少しずつ少しずつ spring has comed! です。しかし、まだまだ続くパンデミック! まん延防止条例も延長になり(3月21日)、どこまで続くコロナ生活! どこまで続くマスク生活! (続いて欲しくないで～す)

今月のトピック: 今年の10月号で取り上げたインドネシア・バリ島で「バイバイ・プラスチックバッグ」のキャンペーンを進めているメラティ・ワイゼンさんのその後

メラティさんは、今年21歳、プラスチック禁止活動の成功の後、「マウンテン・ママズ」という活動に乗り出しました。プラスチック製バッグに代わるバッグは何か? という質問に代替えバッグ事業を見出したのです。それが従来のビジネスを変えるチャンスになりました。より多くの代替えバッグと、女性たちに社会的な力をつける場が必要だと考えて「マウンテン・ママズ」を立ち上げました。マウンテン・ママズは循環型の社会的な事業で、女性に力を与え、中古品の素材で代替えバックを作れるようにしています。穴の空いた古いTシャツ、コーヒーをこぼしたスカートなど中古の素材をすべてバッグに再使用します。ホテルとも提携してホテルのベッドシーツを引き取って、とても面白くて斬新なバッグに変身させるのです。バッグの販売利益の50%が「バイバイ・プラスチックバッグ」のNGOに還元され、残りの50%が女性たちの出身地の地域社会に還元されます。そして地域のインフラ整備の為に廃棄物管理、村の学校教育、地域医療のために予算化されます。マウンテン・ママズは非常に機能的で循環型のビジネスモデルであり、バリ島の村で非常にうまく機能しています。国連が定めた17項目のSDGs(持続可能な開発目標)を2030年までに達成できるように学校で教えたり、企業が取り入れたり、個人が本当に理解することが必要です。メラティ・ワイゼンさんの肩書は「環境活動家」です。



あたゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

冬休みが終わったと思ったらもう春休みを迎えようとしています。それぞれの子がそれぞれの感慨を持ってこの3月を過ごします。大学受験中の子はあとひと頑張り! まだ後期が残っています。又、年度末テスト対策に「勉強せな」と言うだけかなと思っていたら机に向かっている姿を見せている子もいました。ゆんたくに入所している期間は違うものの共に日常生活を過ごしてきているので、お互いを認め合う雰囲気共有していると感じています。集団生活のいい意味での影響をお互いに与えながら成長していったらと思います。



なんくるはなんくるないさ～

(なんとかなるよ!)

なんくるは変わらないメンバーで賑やかな日々を過ごしています。Aちゃんは無事大学に合格し4月から大学生になります。アルバイトをしてお金をためながら受験は大変だったと思います。他の子ども達もそれぞれ将来の夢があり勉強に励んでいる姿を見ると、「私たちスタッフも頑張りねば…っ!」とエネルギーをもらっています。幸い今はみんな元気に過ごしているのですが、これから春に向けてさらに忙しくなる季節です。病気や怪我をすることなく無事に新しい学年を迎えられるように…。スタッフも気を引き締めていきたいと思います。まずは手洗い・うがいを丁寧に病気にかからないように出来ることから始めます(´▽`*)♪





らいげつ らいげつ あんない あんない
来月のキッチンゆんたくのご案内

2022年

4月21日 (第3木曜日) かいさい 開催

よてい よてい
予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ



3月のキッチンゆんたく

メニュー♪

- ・ゆんたくカレー
- ・ポテトサラダ

夕方5:30~なくなり次第終了 しだいしゅうりょう

☆子ども…50円/大人…100円 えん

コロナが増えているため、残念ですが、 ふ ざんねん

テイクアウトで開催します! かいさい

なくなり次第終了です。早めにきてね♪ はや

※※お車での来場はできません。※※ くるま らいじょう

徒歩もしくは自転車でお越しください とほ じてんしゃ ご

Thanks

きんりん きんりん かいしゃ さま きんいっぷう
近隣の会社K様より金一封をいただきました。

また近隣のU様より金一封、フードバンク京都様より、カレールウ・お菓子・お水・醤油を
いただきました。いつもありがとうございます。

Thanks ♪



かみしばい かみしばい えほんしょうかい えほんしょうかい
紙芝居・絵本紹介

『みんなうんち』

ごみ ごみ たろう たろう さく さく
五味 太郎 作

こんかい こんかい なが よ つ かがくえほん ぶんしょう みじか ちい こ たの
今回もうんちの絵本、長く読み継がれている、科学絵本です。文章も短め、リズムカルなので小さい子どもも楽し
めます。「うんち」と聞けば思わず笑っちゃうけど、子どもたちは興味深々。だって、みんなうんちするんですね。
あたりまえのことだけど、大事なことなのです。うんちを明るくユーモラスに、そして科学の視点からもわかりやすく、
読み返せばすぐにおもいだすほど印象的にうんちが描かれています。

<あらすじ>

おお おお
大きいぞうは、大きいうんち。小さいねずみは、小さいうんち。さかなも、とりも、むしだって。

かたち かたち いろ どうぶつ
形や色やにおいだっていろいろ。いろんな動物いろんなうんち。

うんちのしかたも様々で、とまってうんち、歩きながらうんち。あちこちでうんち、決めたところでうんち。
へびのおしりはどこ? くじらのうんちはどんなの?

『いきものはたべるから、みんなうんちをするんだね』

ぜんかい ぜんかい かあ たいおう
前回の『がまんだがまんだうんちっち』のお母さんの対応は……

「がんばったのね あわてないで かんがえられること ぜんぶやったみたのね えらいわよ」

「さて ちゅうしゃいはんの みおくんのうんちをとりしゅっぱつ!」

……でした。